

37：棚田・大山千枚田での体験（田植え・稲刈り）と自然観察

プログラムの内容

- ▶ 雨水だけで耕作を行っている棚田で、なぜ雨水だけで米作りができるのかを、実際田んぼの土に触れながら春は田植え体験・秋は稲刈り体験を行います。また棚田についての生態をじっくり観察し、自分たちの食と自然環境について考えてもらう

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

- ▶ **ゴール15（ターゲット15.1）**：陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する。
- ▶ **ゴール2（ターゲット2.4）**：持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を实践する。



事前学習

普段食べているお米がどのように生育するのかを調べてみる。その上で棚田の特徴を調べ、農村の持つ様々な役割についても考えてみる。

現地学習

なぜ雨水だけで米作りができるのかを考える。実際に田植えを行い、特徴のある土に触れながら、米作りの一端を体験する。棚田における生態系を観察し、環境保全を学ぶ

事後学習

棚田を保全することの意味を振り返り、どうしたらずっとこの風景を守り続けていくことができるのか、個人/グループで意見をまとめてみる

プログラムのポイント！



日本で唯一の雨水だけで米作りを行っている棚田でその景色をみながら、素足で泥の感触を感じ、土の温かさを感じながら食や環境の大切さを感じながら米作りの一端を学んでください。また棚田の自然観察を通じて、棚田の環境保全についても考え、学習します。

受入人数	100名	対象	小学生以上
受入可能時期（休業日）	5月（～20日目安）/ 9月（～10日目安）	1人/1回 当たり料金	田植え+観察会 3,630円 稲刈り+観察会 3,080円
受入可能時間	応相談	備考 （雨天対応等）	少雨決行
体験時間	3時間		

▶ 問い合わせ

名称：NPO法人大山千枚田保存会

担当：牛村 展子

TEL：04-7099-9050

営業時間：9:00～16:00

休館日：火曜日（体験の申し込みがあればお受けします）